

くろかわ感染症情報

参考：厚生労働省、国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト

速報

今回のテーマは **百日咳****！黒川管内でも流行！**

百日咳とは、百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作を特徴とする感染症です。
全国的にも流行していますが、宮城県では令和7年4月現在で昨年1年間で発生した数をすでに上回っており、黒川管内でもすでに3件発生しています。



どんな症状？

経過は3期に分けられ、全経過で2～3か月で回復

①カタル期（1～2週間）

5～10日の潜伏期間を経て、軽い咳や鼻水等のかぜ症状で始まり、だんだん咳の回数が増え、程度も激しくなる。

特に感染力が強い時期

②痙咳（けいがい）期（2～3週間）

だんだん特徴のある（コンコンと激しい咳が続いた後、ヒューッと息を吸い込む）咳が出始める。夜の発作が多いが、年齢が小さいほど症状は多様で、赤ちゃんでは息を止めているような無呼吸発作からチアノーゼ、けいれん、呼吸停止と進展することがある。

③回復期（2、3週間～）

激しい咳は2～3週間で減ってくる。



どうやってうつるの？

咳によるしぶきからや、そのしぶきがついたドアノブや手すりなど汚染されたものを触った手で、自身の口や鼻、目を触ることでうつります。

治療法は？

- ◆生後6月以上は抗菌薬による治療が検討されます。
- ◆咳が激しい場合には咳止めが処方されることがあります。

百日咳診断後の学校や仕事は？

- ◆学校は学校保健安全法により、特有の咳が消失するまで、または適正な抗生物質製剤による治療が終了するまで出席停止の規定があります。
- ◆社会人の場合は、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症と同様に、医師の指示の元、職場等に出勤時期を相談し、周囲に感染を広げないようにご協力をお願いします。

予防と対策！

◆予防にはワクチン接種が有効！

赤ちゃん（特に生後6か月以内）では重症になり、肺炎・脳炎を合併し、死に至ることもある。生後2か月になったら5種混合ワクチンを受けましょう。

◆咳エチケット！咳症状がある場合は不織布マスクをつけましょう。

◆手洗いは感染予防対策の基本！

帰宅時、食事の前後、咳やくしゃみ・鼻をかんだ後、病気の人のケアをした時、外にあるものに触ったとき等、流水とハンドソープでこまめに手を洗いましょう。

咳エチケット！



2025年4月18日発行

◆御意見・御質問などは塩釜保健所黒川支所までお願いいたします。電話：022-358-1111 FAX：022-358-1110

◆この情報は、宮城県仙台保健福祉事務所黒川支所（塩釜保健所黒川支所）HP（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-helth-k/index.html>）にも掲載しております。もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP（<https://www.pref.miyagi.jp/>）、厚生労働省HP（<https://www.mhlw.go.jp>）をご覧ください。